

平成22年 第1回市民意見交換会の意見概要

②市政に関すること

【総務企画委員会】

意見概要
ブロードバンド、光通信、地デジ、防災ラジオ等の通信網が未整備地区もあるため、整備実施を望む。
地デジの基地を組合で管理しているが、道路がなく車両の通行ができない現状の対策。
支所地域の特性を活かした新たな観光資源の発掘や魅力ある地域づくりを進めるべきである。
地域審議会が合併10年後になくなるというが、市民の声を聴く場を確保してほしい。
支所地域のイベントが無くなったことが残念だ。
温泉の維持管理に多額な経費を要するため補助を考えてほしい。
支所地域の出先(簡易郵便局等)において住民票等の証明書発行は可能になったが、転入・転出など異動届けは受け付けてもらえない。もっと利便性を考慮してほしい。
支所地域における公共交通を充実させた上で、小学校の廃校跡地を利用し地域医療の拠点にすることは考えられないか。
市は多額な起債を抱えており交流センターなどハコモノが必要なのか。
行政は市民に対し、事業に関することの多くを押し付けるというイメージがあるが、代表者には相談してほしい。
早朝の通学(高校生)や通院が可能になるよう、遠隔地の公共交通の充実をお願いしたい。
支所長の交替が早く地元と融和していない。
住民の声を地域審議会を通じてあげると、市長に通じると言われているが、なかなか上がっていかないようだ。議会の方へは、地域審議会の声はあがっているのか。
地域審議会の期間延長をしてほしい。
久々野支所建設は、現行位置に建設してほしい。
広報より議会と直接話す機会を多く持って欲しい。
支所長と部長の権限に差があるのではないか。
広い面積の市だ、議会だけでなく、行政も対応いただき、このような意見を聴く工夫をしてほしい。
福祉バスが廃止されると聞くと聞くと、福祉バスをたよりにしているのだから、後退しないようにしてほしい。負担については、最低限必要と思っている。
副市長は、1名体制で出来ないのか。
市職員の給与も考えて、改革してほしい。
支所職員が削減されている。議員も支所に出向いてほしい。
高山市選挙管理委員会の報酬はどうなっているのか。
高山市に天下り先はあるのか。
各自治会の中でも情報公開(総合計画等)の資料が閲覧できるようにしてほしい。

消防団の器具庫に団員が入りきれないため、市の施設を利用させてほしい。
消防ポンプ車やはしご車など近代にあった消防車の配置をして欲しい。
消火栓の格納庫を町内で維持管理させる方針であるが、町内で管理は出来るが維持は無理である。
町内の配布物が市より町内会長に一括で届けられるが、町内会に加入していない世帯まで配布するよう部数があるが、町内会長の任務は、町内未加入者の対応まで出来ない。
町内加入率が低下しており、対策を行政も検討するべきで条例化も含めて考えはないのか。
行政がボランティアに頼っているところが多い。町内会の行事や奉仕活動において、行政も協力体制を整えるべきではないか。
子ども会等の子どもの活動にまで会場(市の施設)使用料を徴収するのは疑問がある。
社会教育主事を市の嘱託職員に出来ないか。
社会教育活動を活発化させ地域活力を創出するために努力しているが、財政難で活動が思うように出来ない。
行政内部の支出や各種団体等への補助金についても事業仕分けを行い、精査する時代ではないか。
パスカル清見を高山市全体で活用することを考えてほしい。
クアアルプの解体費用は無駄だったのではないか。
入湯税や鉱泉源税の負担の大きさを考えて欲しい。また、指定管理者が受託し運営を行なっている施設の土地賃借料について宅地並みに課税すると聞いた。一方的すぎる通達だ。
固定資産税の決定額が不透明であり、都市計画税についても見直すべきではないか。
農地に宅地並みの固定資産税を賦課することは問題ではないか。

【福祉保健委員会】

意見概要
少子高齢化の波が大きくなっているが、意見交換会でも福祉政策について話し合いを持たないのか。
久美愛厚生病院の産科医が退職された理由を調べる必要があったのではないか。それで病院に意見を言うべき。
荘川診療所の建設の際、地域審議会にも図面は示されたが、その場で見て返却させられた。十分な地元の意見が反映されたとは言いがたい。(雪の問題、待合室が狭い等)
総合交流センターの建設は、今の時代に相応しくないうえに、支所地域の市民は交通の便もあり、利用しやすいのか疑問である。
高山厚生病院の存続をお願いしたい。
火葬場の建設については、方向性を示してほしい。
国民健康保険料が高いのではないか。

【文教経済委員会】

意見概要
子どもを健やかに育てるには家庭環境が重要であるが、家庭の調和を保つために市は何をしているのか。

通学路が狭く危険であることから、歩道の建設は出来るとよい。
清見地域には活断層がある。30年以内に動く確率が高い。清見小学校の耐震化を早期に進めてほしい。
鳥獣害対策について根本解決に向け努力すべき。被害や対策の情報を知りたい。
獣害対策は、猟友会を中心に実施しているが、地域の駆除会も協働しないと解決できないため、駆除会等にも補助がほしい。
高山市議会は農業を大切にしているのか。FTAの意見書の扱いはどうなっているのか。勉強しているのか。
農地を守る取組みは、農業者だけでなく行政も真剣に検討してほしい。
鳥獣害対策について、市として狩猟免許を持った職員を雇用し、専門部署を設置し駆除を行なうべきではないか。
森林が荒廃しているが、手当しないと災害の原因になるでは。
獣医師の確保など畜産振興に努力すべき。堆肥など利活用を更に研究するべきではないか。
養豚場の排水等臭いがひどい。規模拡大で臭いが広がっている。改善の指導をしてほしい。
市の財政は健全化しつつある中で、基金の積み増しを行なっているが、景気対策にもっと力を入れてほしい。
市内全体(個人も含め)の景気動向を調査してほしい。
平成22年度の景気対策の予定はあるのか。
高山市の景気対策は的外れである。
若者の流出が著しいが、ビジョンを示し市内に雇用できるシステムを構築すべき。
市内全体で雇用する場が少ない。
乗鞍スカイラインの開通時期を5月1日の連休前にするという検討をしてはどうか。
観光振興のために旧市内だけでなく支所地域にも力点を置いてほしい。
高山市内の観光エリアを拡大すべき。また、高山祭等の際には、市内の多くの場所に仮設トイレを設置するべきではないか。
広域で連携を行い広域観光に重点を置くべきではないか。
アルコピアスキー場の存続を望む。地元の雇用がなくなってしまう。
観光協会の運営が厳しい。

【基盤整備委員会】

意見概要
中部縦貫道の今後の見通しはどうなっているのか。
国道361号の2車線化を実現して欲しい。
新湊地区の道路拡幅はどうなっているのか。
黒谷三尾河間についても要望しているが、どうなのか。

公共工事の際、地元説明会を開催しても市民意見が反映されない。
十三墓峠の早期改良工事を行ない合併時の「30分構想」を実現すべき。
北山の防空壕の問題を早く解決してほしい。
千島～松ノ木線の市道延伸については、署名も展開されており実現すべきである。
私道は市として除雪も実施しないが、通学路については、私道であっても除雪してほしい。
除雪の際に交差点付近に雪が積み上げられるため、見通しも悪く危険である。
水路付け替え工事裁判については、市長や議会は責任をどうとるのか。
耐用年数が過ぎた施設(道路・側溝)が多くなっているが、地域住民も年をとって工事ができない。
私道整備を補助をもらって毎年少しづつ行っているが、もっと補助がほしい。
都市計画区域の拡大と都市計画税のあり方を検討しているのか。
温泉は究極のエコシステムであるが、自然エネルギーを利用した自然にやさしい高山市をアピールできないか。
総合交流センター建設後のランニングコストなども研究しながら、建設に向け検討しているのか。